

## 古典的ケース 13.出産の痛みに苦しむ女性

Mrs. C は 37 歳、金髪、初産婦だった。

私は 9 月 5 日の午前 5 時にお産のために呼ばれ、彼女が出産の第一段階にあることがわかった。

痛みは前夜 9 時から続いていた。

彼女はここ 6 週間、腹部、臀部、大腿部、腰部の非常に強い痛みに苦しんでいた。

私は午前 10 時 30 分に再び呼ばれ、陣痛が非常にひどく、ゆっくりと陰部に広がり、こわばって、その結果は非常に非効率的で、陣痛はその目的を果たせず、患者はとても神経質になっていた。

私は RX. 30C を 1 回与えた。

その瞬間から、頭が会陰に達するまですべてが順調に進んだ。

ここで、膣の開きが非常に緊張して収縮し、陣痛が激しくなった；それでも、入念な管理と、3 回の強い陣痛によって子どもが生まれた。

大いに安堵したことには、陰部に少しも裂傷がなかった。